

2020年5月14日

泌尿器科に、過去に通院・入院された患者様へ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] High-grade Ta 膀胱癌に対する repeat TUR の妥当性の検証

[研究機関の長] 香川大学医学部長・上田夏生

[研究責任者所属・名] 香川大学医学部泌尿器科学・杉元幹史

[研究の目的] 膀胱癌のうち、Ta、もしくはT1と分類される筋肉よりも浅いところで留まる膀胱癌は、筋層非浸潤性膀胱癌と呼ばれ、まず経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT: transurethral resection of bladder tumor)で治療されます。そして、その病理診断の結果で悪性度の高い膀胱癌(high-grade)であった場合、癌細胞が残っている可能性があるために、2度目のTURBT(repeat TUR)が推奨されています。しかし、high-gradeのうち、粘膜だけの最も浅いところで留まるTa膀胱癌に対するrepeat TURのデータは不足しています。そのため本研究は、high-grade Ta膀胱癌に対するrepeat TURの妥当性を明らかとすることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者様

2009年1月～2019年8月に香川大学医学部附属病院で経尿道的膀胱腫瘍切除術を実施された患者様のうち、high-grade Ta膀胱癌であった98名

○利用する診療情報

年齢、性別、尿細胞診(手術前)、上部尿路上皮癌・膀胱癌の既往、膀胱癌の数と最大径、病理診断(組織診・深達度・悪性度・筋肉採取の有無)、追加治療の有無、膀胱癌の再発・進展

[研究組織]

- ・研究代表者・責任者所属・役職・名： 香川大学医学部泌尿器科学・教授・杉元幹史
- ・研究実務者所属 役職・名： 香川大学医学部泌尿器科学・学内講師・田岡利宜也

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者様の個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者様の個人情報に関しては、お名前、住所など、患者様個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

担当医師 田岡利宜也(たおかりきや)

香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部泌尿器科学 担当医師 田岡利宜也

電話 087-891-2202, FAX 087-891-2203